第11回



市長コラム てっちゃんの ひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「ラグビーワールドカップ開催～宿沢広朗（しゅくざわひろあき）さんの思い出～」

9月9日（日本時間）から、待ちに待った「ラグビーワールドカップ 2023 フランス大会」が始まりました。我らが日本代表は初戦のチリを相手に快勝！幸先の良いスタートを切り、期待がふくらみます。



宿沢杯の様子

そんなワールドカップが始まる直前の9月2日に、熊谷ラグビー場で開催された「第3回宿沢杯ラグビーフットボール大会」の開会式に出席させていただきました。憧れの宿沢広朗さんに由来のある大会への出席は大変光栄でうれしいものでした。

宿沢さんは、熊谷高校卒業後、早稲田大学に入学。花園出場経験がない中でラグビー部に入部し、スクラムハーフとして大学ラグビーのトップ選手として活躍。大学2・3年生の時には社会人チームを破って日本一に輝き、日本代表にも選出されるなど、ラグビー少年だった私にとってはスター的な存在でした。しかし、ラグビー部のない住友銀行（当時）に就職され、「ラグビーをやめてしまうのか」とがっかりしたことを覚えています。

それから時を経（へ）て1989年にラグビー日本代表監督に就任され、驚きとともに興奮したことを思い出します。そして記憶に新しい2015年のワールドカップ南アフリカ戦の勝利まで、ワールドカップで1勝しかしていなかった日本代表が、その1勝を勝ち取ったのが宿沢JAPANだったのです。熊谷市がラグビータウンを名乗ることとなった背景には宿沢さんの存在もあったことでしょう。今年のラグビーワールドカップは熊谷市にゆかりのある方々やチームに思いをはせながら楽しみたいと思います。



宿沢杯でスクリーンに映された写真
（歴史的1勝を上げて胴上げされる宿沢さん）